平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月7日

上 場 会 社 名　塩水港精糖株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　2112　　ＵＲＬ　http://www.ensuiko.co.jp
代　　表　　者　（役職名）取締役社長　　（氏名）浅倉　三男
問合せ先責任者　（役職名）専務取締役管理ｸﾞﾙｰﾌﾟ長（氏名）安戸　久仁彦　（TEL）　(03)3249-2381

四半期報告書提出予定日　　平成25年２月７日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売　上　高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	22,148	△5.6	686	△19.7	575	△42.4	283	－
24年３月期第３四半期	23,453	8.2	854	△21.2	1,000	△16.0	△626	－

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　465百万円（45.0%）　24年３月期第３四半期321百万円（△15.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	10.54	－
24年３月期第３四半期	△23.31	－

(2) 連結財政状態

	総　資　産	純　資　産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	25,550	6,119	24.0
24年３月期	26,576	5,785	21.8

（参考）自己資本　　25年３月期第３四半期　6,119百万円　24年３月期　5,785百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期　末	合　計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	－	－	5.00	5.00
25年３月期	－	－	－		
25年３月期(予想)				5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売　上　高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　　期	28,500	△6.2	750	△24.1	400	△62.7	250	△46.3	9.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規　　ー社　　（社名）　ー　　、除外　　ー　社　　（社名）　ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：有
④ 修正再表示　：無

（注）第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積もりの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料４ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更･修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年３月期３Ｑ	35,000,000株	24年３月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	8,140,074株	24年３月期	8,139,601株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年３月期３Ｑ	26,860,304株	24年３月期３Ｑ	26,860,399株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了されていません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報…… 2
（１） 連結経営成績に関する定性的情報…… 2
（２） 連結財政状態に関する定性的情報…… 3
（３） 連結業績予想に関する定性的情報…… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項…… 4
（１） 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動…… 4
（２） 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用…… 4
（３） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示…… 4
３．四半期連結財務諸表…… 5
（１） 四半期連結貸借対照表…… 5
（２） 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…… 7
四半期連結損益計算書…… 7
四半期連結包括利益計算書…… 8
（３） 継続企業の前提に関する注記…… 9
（４） セグメント情報等…… 9
（５） 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報〔当期の経営成績〕

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、復興需要が景気を下支えする中で、欧州債務問題等による世界景気の減速の影響を受け、景気は総じて弱い動きで推移しました。
一方、累計期間終盤において、政権交代による経済政策への期待感から景気の一部に下げ止まりの兆しが見られるものの、電力供給の制約やデフレからの脱却懸念から、景気の先行きは予断を許さない状況にあります。
このような状況のもと、当社グループは、激変する環境変化に適応し、より一層の事業基盤強化と収益安定を図るため、平成24年度を初年度とする「中期３ヵ年経営計画」を策定し、その目標達成に向けた体制の強化に取り組んで参りました。

当第３四半期連結累計期間の海外原糖市況は、期初24.58セント（ニューヨーク市場粗糖先物相場（期近限月の引け値、１ポンド当たり）以下同様）で始まりましたが、主要生産国の増産見通しから６月には18.90セントまで下落しました。その後、ブラジルの長雨による収穫遅れや投機資金の流入で７月に23.92セントまで上昇しましたが、南半球の生産量が前年を大幅に上回ることが確認され、また、北半球でも良好な生産見通しから供給過剰観測が優勢となり、徐々に値を下げ、12月には18.54セントの安値まで下落し、19.51セントで当第３四半期連結累計期間を終了しました。
当第３四半期連結累計期間の国内市中価格は、東京市場現物相場（日本経済新聞掲載、上白糖大袋１kg当たり。）は期初185～186円で始まりましたが、海外原糖相場の下落を受け、７月21日に３円下げ182～183円となり、同一水準のまま当第３四半期連結累計期間を終了しました。

かかる状況の中、当社グループは高品質で安心、安全な製品の安定供給を第一義とし、顧客満足度を一層高めるとともに、価格競争力の一層の向上に努めて参りましたが、砂糖販売数量の減少、販売価格水準の低下等の要因により、売上高、営業利益、経常利益ともに前年同四半期を下回りました。

その結果、当社グループの当第３四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

当第３四半期累計期間	金額（百万円）	前年同四半期比
売上高	22,148	5.6%減
営業利益	686	19.7%減
経常利益	575	42.4%減
四半期純損益	283	－%

また、セグメントごとの業績は次のとおりであります。

当第３四半期累計期間	売上高（百万円）	前年同四半期比	セグメント利益（百万円）	前年同四半期比
砂糖事業	20,407	5.8%減	1,316	10.1%減
バイオ事業	1,175	3.2%増	135	17.6%増
不動産賃貸事業	621	5.4%減	52	40.4%減
調整	△56	－	△817	－
連結損益計算書計上額	22,148	5.6%減	686	19.7減

（注）セグメント利益の調整額△817百万円には、セグメント間取引消去△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△808百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

①砂糖事業

販売数量につきましては、第１四半期に海外原糖相場の下落による価格先安感から販売が低調に推移したことが影響し、前年同四半期を下回りました。売上高につきましては、販売数量の減少及び販売価格水準の低下により前年同四半期を下回りました。

②バイオ事業

・オリゴ糖

家庭用「オリゴのおかげ」は、引き続き商品価値の啓蒙に努めるとともに、量販店を中心に販促施策を継続し一定の成果を上げました。業務用は新規採用に向け営業活動に努めました。

・サイクロデキストリン（ＣＤと略称。）

飲料、健康食品などの食品分野の拡販に努めた結果、飲料、冷凍食品、練り製品向けの販売数量が増加しました。また、非食品分野への拡販に努めた結果、同分野における販売数量が増加しました。

以上から、バイオ事業全体では、オリゴ糖、ＣＤ両部門共に販売数量が増加し、売上高は前年同四半期を上回りました。

③不動産賃貸事業

関西製糖株式会社への大阪工場設備の賃貸、ニューＥＳＲビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました。

研究開発につきましては、肝機能改善などの機能を有するグルクロン酸の新規工業的生産技術のノウハウにつき、継続して第三者への貸与等に努める一方、バイオプラスチック原料となり得るグルカル酸の工業的製造法を確立し、その画期的な製造法の研究成果をＩＲ情報として開示しました。その後、グルカル酸の製法技術の応用研究に取り組んでいます。また、抗がん剤「糖修飾パクリタキセル」をリポソームに包み込み、副作用を大幅に軽減し得る「がんミサイル療法」に関しましては、引き続き共同研究開発を進めました。

また、農林水産省からの研究委託事業として取り組んでいる、米粉を原料とした乳化機能を有する食品素材の開発につきましては、計画通りに研究を推進しました。

バイオ製品（オリゴ糖、ＣＤなど。）につきましては、一層の製造コストの低減と品質の向上に取り組むとともに、新たな機能の探索に着手しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて1,026百万円の減少し、総資産は25,550百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品の減少によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて1,360百万円の減少し19,431百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金や未払法人税等の減少によるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べて333百万円増加し、6,119百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金及び四半期純利益の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年10月30日公表の業績予想から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴う、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,304	1,170
受取手形及び売掛金	1,937	2,262
商品及び製品	915	853
仕掛品	312	173
原材料及び貯蔵品	1,310	616
未収還付法人税等	21	0
繰延税金資産	90	69
その他	1,110	1,126
貸倒引当金	△0	－
流動資産合計	7,002	6,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,512	9,577
減価償却累計額	△4,815	△5,005
建物及び構築物（純額）	4,697	4,571
機械装置及び運搬具	11,049	11,127
減価償却累計額	△9,099	△9,332
機械装置及び運搬具（純額）	1,950	1,794
工具、器具及び備品	391	395
減価償却累計額	△333	△343
工具、器具及び備品（純額）	58	52
土地	5,195	5,234
建設仮勘定	23	33
有形固定資産合計	11,924	11,685
無形固定資産	96	76
投資その他の資産		
投資有価証券	4,814	4,849
長期貸付金	1,276	1,369
繰延税金資産	1,328	1,204
その他	159	116
貸倒引当金	△24	△26
投資その他の資産合計	7,554	7,514
固定資産合計	19,574	19,276
資産合計	26,576	25,550

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,098	678
短期借入金	9,591	11,483
未払法人税等	423	6
未払消費税等	76	93
賞与引当金	85	41
その他	1,162	1,143
流動負債合計	12,437	13,446
固定負債		
長期借入金	6,642	4,294
退職給付引当金	1,214	1,154
役員退職慰労引当金	252	－
その他	244	536
固定負債合計	8,353	5,984
負債合計	20,791	19,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	266	266
利益剰余金	7,856	8,007
自己株式	△3,116	△3,117
株主資本合計	6,756	6,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△969	△776
繰延ヘッジ損益	△1	△11
その他の包括利益累計額合計	△971	△788
純資産合計	5,785	6,119
負債純資産合計	26,576	25,550

(2) 四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位:百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	23,453	22,148
売上原価	19,880	18,713
売上総利益	3,572	3,434
販売費及び一般管理費	2,718	2,748
営業利益	854	686
営業外収益		
受取利息	35	33
受取配当金	173	97
持分法による投資利益	23	－
デリバティブ利益	15	20
雑収入	48	31
営業外収益合計	295	184
営業外費用		
支払利息	137	118
持分法による投資損失	－	149
支払手数料	5	24
雑損失	6	2
営業外費用合計	149	294
経常利益	1,000	575
特別利益		
投資有価証券売却益	56	15
特別利益合計	56	15
特別損失		
投資有価証券売却損	－	7
投資有価証券評価損	1,937	16
その他	7	4
特別損失合計	1,944	28
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△888	562
法人税、住民税及び事業税	23	242
法人税等調整額	△286	36
法人税等合計	△262	279
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△626	283
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△626	283

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位:百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△626	283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	822	202
繰延ヘッジ損益	110	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	13	△9
その他の包括利益合計	947	182
包括利益	321	465
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	321	465
少数株主に係る包括利益	－	－

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,657	1,139	656	23,453	－	23,453
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	21,657	1,139	656	23,453	－	23,453
セグメント利益	1,464	115	87	1,667	△813	854

（注）１．セグメント利益の調整額△813百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△813百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	砂糖事業	バイオ事業	不動産賃貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,392	1,158	596	22,148	－	22,148
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	16	24	56	△56	－
計	20,407	1,175	621	22,204	△56	22,148
セグメント利益	1,316	135	52	1,503	△817	686

（注）１．セグメント利益の調整額△817百万円には、セグメント間取引消去△9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△808百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2　報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による影響は軽微であります。

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。